

熊本地震から6年メモリアル復興集会

～被災者・住民主体の 復興まちづくりを



熊本地震からまもなく6年を迎えます。被災地では、県道高森線の4車線化や土地区画整理事業などの復興事業がすすめられていますが、被災者の生活と暮らしの再建はどうなっているのでしょうか。

豪雨災害など自然災害が頻発し、災害復興のあり方が問われている中、熊本地震被災地の復興の現状と課題を確認し、住民主体の復興まちづくりを考えます。

2022年

4月10日 

<第1部>被災地現地調査 10:00～12:00
(集合9:50)

<第2部>記念シンポジウム 13:30～16:00

※第1部のみ・第2部のみ参加可。

益城町交流情報センター

(ミナテラス) 視聴覚室 (益城町木山236)

資料代 会場参加 500円 (ZOOM参加 無料)

<当日ZOOMのURL>

第2部の
ZOOM参加
も可



ZOOM参加者には資料をデータ送信しますので、事前の申し込みをお願いします。

<第1部> 被災地現地調査 10:00～12:00

益城町の県道高森線の4車線化や木山土地区画整理事業などの現地をまわりながら、甲斐康之町議から説明を聞きます。(自家用車に乗り合わせ)

<第2部> 記念シンポジウム 13:30～16:00 (質疑次第では多少時間の延長があります)

■コーディネーター

中島 熙八郎氏 (くまもと地域自治体研究所理事長・熊本県立大学名誉教授)

■パネリスト

甲斐 康之氏 (益城町議会議員) 復興事業の進捗状況と課題

川上 和美氏 (熊本県民医連) 災害公営住宅調査結果から見る被災者の生活と健康の実情

宮永 和典氏 (元益城町小池島田仮設団地自治会長) 益城町東無田地区の復興まちづくりの歩みと現在

杉野 武氏 (益城町災害公営住宅木山下辻団地区長) 災害公営住宅の暮らしの現状と課題

高林 秀明氏 (熊本学園大学教授) 被災住民の復興プロセスにおける制度の壁

■主催：いのち平和ネット被災者支援共同センター・熊本県民主医療機関連合会
・NPO法人くまもと地域自治体研究所

熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水 Tel・Fax 096-383-3531 km-tjk@topaz.ocn.ne.jp

益城町交流情報センター（ミナテラス）視聴覚室

※第1部「被災地現地調査」の集合場所も益城町交流情報センターになります。

【交通アクセス】

- ◇所在地：益城町木山236（総合運動公園内）
- ◇駐車場：総合運動公園内に約500台収容（無料）
- ◇身障者用駐車場：交流情報センター正面（無料）
- ◇駐輪場：交流情報センター南側（テニスコート横・無料）
- ◇最寄りのバス停：木山上町バス停から徒歩15分程度

